

⑤【花き・花木】 檜葉町インドア花いっぱい運動展開中！

新型コロナウイルス拡大防止に伴う影響により、全国的に花き等の需要が激減している状況ですが、町内の花き・花木を生産している4農業者（組合含む）の方々は、前向きに取り組んでいます。

昨年からの約180の事業者に対し、生産者等から購入した花き等を定期的に提供する取組みを展開しており、花束を受け取った皆様から「うれしい」「ありがたい」「癒される」等の言葉とともに笑顔もいただいています。



花もイキイキ！健康美！
(ならばスカイアリーナ)

花を見たり、プレゼントされたりすると「幸せホルモン」が分泌され、ストレスが和らぐそうです。幸福感が得られることやモチベーションアップ（意欲向上）にもつながります。



⑥【地産地消】 檜葉産のトマトが食べられるお店？！

4月下旬、トマトの生産工程等について勉強会を行うため、JGAP認証を取得した「ナラハプラントファクトリー」を訪れました。ここなら笑店街にある Pasta とピッツアのお店「fusion (ヒュージョン)」の伊関洋士郎さんは「町民の皆様へ食を通して元気に健康になっていただきたい！」という思いから地場農産物の活用にも取り組んでいます。伊関さんは、「今回の勉強会をきっかけに、檜葉産のトマトを使用した新メニューにチャレンジしたい！」とおっしゃっていました。



トマトの生産工程等について意見を
交わす伊関さん(左)と青木社長(右)

産業振興課では、生産と消費をむすぶ取組みにも積極的に取り組んでいきます。🍅

発行日 令和3年5月
発行 福島県檜葉町
編集 檜葉町産業振興課
〒979-0696

福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
TEL: 0240-23-6104 FAX: 0240-25-1234

チャレンジ農業！次のステージへ！
～水分と塩分補給で農作業～

チャレンジ農業！次のステージへ！

営農情報ならは⑨

檜葉町産業振興課（令和3年5月号）

- ①【田植え】笑顔で農作業！規模拡大と省力化にチャレンジ！
- ②【タマネギ】無人航空機（ドローン）で殺菌剤散布！
- ③【柚】ユズの花言葉は「健康美」「嬉しい知らせ」♪
- ④【甘藷】本格始動！甘藷の一大産地化を目指して！
- ⑤【花き・花木】檜葉町インドア花いっぱい運動展開中！
- ⑥【地産地消】檜葉産のトマトが食べられるお店？！



①【田植え】 笑顔で農作業！規模拡大と省力化にチャレンジ！

4月19日、檜葉町大谷地区の水田で早々と田植え作業が行われました。青木さんは、約2haの水田に「天のつぶ」と「コシヒカリ」を作付けしました。今後、規模拡大を計画しており、低コスト・省力化を図るため「蜜苗（みつなえ）」にチャレンジする予定です。檜葉町における令和3年産の水稲作付面積は、約300ha超の見込みで法人を含む61名の農業者が田植え作業等を行っています。



達成感に満ちた青木さん！
(撮影：R3.4.19)



※蜜苗の最大の特徴は、育苗箱数が減ることです。今までと同じ面積を少ない育苗箱で植えることができるので、培土等の資材費が減るほか、播種や苗運び等の時間も減り、人件費や身体的負担も軽減される手法のひとつです。



土塊を掃除する猪狩さん

農作業後の農機移動時にやむを得ず、農機のタイヤ及び作業機等に付着した土の塊が路上に落下することがあります。

大切な土壌を農地以外に持ち出さないよう工夫し、もし、落下に気づいた場合は、土壌を農地に戻すように心がけましょう！

②【タマネギ】無人航空機（ドローン）で殺菌剤散布！

橘葉町では、4名の農業者が約5haのほ場で玉ねぎを作付けしていますが近年、一部のほ場で「タマネギのべと病」の発生が確認されています。べと病の発生が多くなると小玉化し、収量の低下を招くほか、重篤な場合は枯死することもあるため、徹底した防除作業が大切です。

4月下旬、佐藤憲之さんのタマネギ栽培ほ場において、ドローンによる殺菌剤の散布作業が行われました。農作業の省力化や負担軽減等の課題解決のためには、ロボット技術や通信技術の活用も期待されています。



散布状況を見守る佐藤さん

<野菜（タマネギ）の指定産地について>

令和3年5月7日、農林水産省告示第727号により「相双地区（※）」が指定産地に指定されました。

※橘葉町、広野町、富岡町、大熊町、浪江町、南相馬市



③【柚】ユズの花言葉は「健康美」「嬉しい知らせ」♪

橘葉町は、今春から「ゆずの里」復活を目指して、柚の植栽事業を継続的に行うこととしています。今春、役場の敷地内に木製の大型プランターが設置され、樹高約1.5mの柚の苗木を植栽しました。営農再開の加速化を図りながら、次のステージとして「6次産業化の進展」や「食と健康への意識醸成」等にも取り組み、「健康寿命の向上」を目指す施策にも力を入れていく方針です。

ユズの花言葉にあるように「健康美」を追求し、「嬉しい知らせ」が届くように、ひとり一人が食と農、健康への意識を高めていきましょう！
柚の日常的な管理等については、職員が必要に応じ、追肥や草刈り作業を行っていく予定です。



芽吹き始めた柚（ゆず）

④【甘藷】本格始動！甘藷の一大産地化を目指して！

4月26日、橘葉町甘藷生産部会長（猪狩富夫氏）の甘藷ほ場において、部会員や関係者約30名が参加し栽培指導会を開催しました。橘葉町甘藷生産部会は、昨年12月に設立され、今春から本格的に甘藷栽培がスタート！甘藷栽培に初めて取り組む農業者も多いことから、JA福島さくらふたば地区本部や県双葉農業普及所、橘葉町産業振興課が連携し、農業者を全面的にサポートしていきます。



猪狩部会長の定植作業を真剣に見守る参加者の皆さん

<指導会の主な内容>

- ①JA福島さくらふたば地区本部：防草・病害虫予防対策、栽培管理日誌への記帳等、春の農作業安全運動及び農業機械作業の安全対策等について
- ②双葉農業普及所：土づくり（完熟堆肥1～2t/10a）及び基肥（※農業者別に処方箋作成）、マルチ前の農業処理、植付け準備、植付け方法等について
- ③橘葉町産業振興課：農機関係及び作業基準料金（参考）、甘藷苗の納期・配付等、その他全体的な調整・相談等

甘藷生産部会長の猪狩さんは、反収アップのために健全な甘藷の育苗にチャレンジしました。苗を育てる「苗床」に電熱線を引き、加温する等、適正な温度と水管理を徹底しました。その結果、健全で生育良好な苗を育てることができました。

子どもたちに甘藷の苗をプレゼント！秋には品評会開催予定！

5月13～14日、松本町長が町内の子どもたち261名に甘藷の苗をプレゼントしました。

各ご家庭で子どもたちと一緒に甘藷を育てることによって、作物を育てる喜びを体験してください♪

秋には、品評会を計画しています。



子どもたちに挨拶する松本町長